

第2表 大阪府工業生産高(続)

年 月	電気機械工業				輸送機械工業			運搬機械			軸受		
	蓄電池	鋼 船	鉄道車輛	完 成 自 転 車	起 重 機	巻 上 機	コンベ ヤー	ボールベ アリング	ローラベ アリング	計	計	計	計
昭和26年	個	G/T	換算合	合	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋
26	311 484	53 304	3 391	140 280	...	...	...	...	...	...	...	...	...
27	307 746	53 664	2 262	110 541	...	...	...	...	...	...	...	...	...
28	297 154	31 676	2 742	115 151	2 903 845	875 986	3 332 580	1 338 926	774 535	...	...	...	...
29	257 363	26 922	3 220	585 000	1 780 640	297 594	4 788 855	1 504 483	1 162 200	2 665 683	...	...	...
1月	21 297	3 534	113	72 000	189 635	22 770	316 340	92 644	80 373	173 017	...	...	...
2	26 900	3 116	166	65 000	130 396	31 110	430 363	122 251	95 764	218 015	...	...	...
3	31 187	3 662	498	72 000	156 885	28 570	384 257	149 885	120 643	270 528	...	...	...
4	25 247	3 052	251	55 000	259 460	20 820	401 255	138 566	95 235	233 801	...	...	...
5	23 818	5 315	122	45 000	81 050	34 870	423 356	137 245	106 426	243 671	...	...	...
6	23 746	2 059	246	33 000	259 845	14 380	352 583	153 074	102 247	255 321	...	...	...
7	18 590	3 264	207	27 000	157 600	40 580	379 658	137 628	111 886	248 514	...	...	...
8	13 280	550	342	37 000	132 640	18 730	387 169	113 638	100 069	213 707	...	...	...
9	13 045	465	491	42 000	75 300	10 610	308 604	121 073	106 087	227 160	...	...	...
10	18 002	522	267	47 000	100 800	26 544	225 848	120 908	78 724	199 632	...	...	...
11	21 112	411	207	41 000	124 350	36 120	342 822	117 104	83 778	200 882	...	...	...
12	21 129	972	310	49 000	112 680	12 490	836 600	100 467	80 968	181 435	...	...	...
昭和30年	229 833	49 375	2 280	21 460	1 183 101	196 315	3 617 690	1 103 480	843 595	1 948 065	...	...	...
1月	17 852	1 862	...	1 537	35 550	38 360	325 343	92 148	67 139	159 287	...	...	...
2	18 904	1 658	14	1 695	114 144	12 520	240 090	68 160	68 210	137 370	...	...	...
3	16 854	1 869	240	1 841	46 892	18 520	338 256	97 773	60 350	158 123	...	...	...
4	14 645	2 849	304	1 969	82 150	16 380	184 851	86 688	60 606	147 294	...	...	...
5	18 681	1 736	261	1 895	125 560	28 405	250 340	97 869	62 978	160 847	...	...	...
6	15 214	3 824	70	1 845	20 565	13 230	263 887	95 565	59 680	155 245	...	...	...
7	18 856	3 920	120	1 615	95 760	25 240	244 968	87 952	64 166	152 118	...	...	...
8	25 193	4 429	7	1 638	124 965	9 250	378 801	88 276	59 807	148 083	...	...	...
9	18 337	5 522	372	1 675	124 710	9 470	319 169	94 333	78 927	173 250	...	...	...
10	16 218	6 300	705	1 900	120 250	6 700	470 473	98 209	77 304	175 513	...	...	...
11	21 237	7 209	99	1 966	158 515	8 370	358 999	101 013	80 561	181 574	...	...	...
12	27 842	8 197	88	1 884	134 040	9 870	242 213	95 494	103 867	199 361	...	...	...

  

年 月	ミ シ ン 頭 部			そ の 他 の 製 造 業					
	H A 型	D C 型	計	防 腐 木 材		枕 木		木ブラシ	金属製玩具
昭和26年	合	合	合	石	石	石	石	打	千個
26	...	...	...	...	...	...	...	320 448	7 232
27	...	...	...	...	...	...	...	555 936	11 589
28	166 501	3 647	170 148	...	...	...	...	478 870	15 688
29	364 906	3 695	388 601	77 921	92 645	1 513	172 079	354 330	24 649
1月	23 717	295	24 012	3 280	11 047	-	14 327	42 450	1 709
2	23 359	346	23 705	3 576	10 626	104	14 306	33 140	2 080
3	29 822	325	30 147	3 897	8 620	-	12 517	30 250	2 018
4	38 471	313	38 784	2 350	9 743	174	12 267	32 150	1 740
5	33 489	326	33 815	6 409	4 484	64	10 957	30 330	1 660
6	29 021	249	29 270	1 954	4 843	-	6 797	24 750	1 629
7	33 929	283	34 212	7 522	6 011	50	13 583	23 920	1 549
8	32 026	227	32 253	12 534	4 229	-	16 763	22 450	1 757
9	29 653	268	29 921	6 062	4 300	972	11 334	22 690	2 334
10	37 367	389	37 756	9 696	11 621	57	21 374	27 150	2 642
11	38 114	343	38 457	12 209	8 464	92	20 765	29 580	2 712
12	35 938	331	36 269	8 432	8 657	-	17 089	35 570	2 819
昭和30年	637 493	3 289	640 781	78 321	98 327	1 424	178 072	414 980	40 088
1月	32 037	255	32 292	271	9 272	95	9 638	34 170	2 404
2	53 038	315	53 353	8 313	3 775	-	12 088	31 990	2 566
3	49 905	313	50 218	4 811	9 459	-	14 270	30 570	2 878
4	47 301	287	47 588	4 940	5 487	264	10 691	33 180	2 814
5	57 229	212	57 441	7 858	7 702	79	15 639	28 670	3 611
6	53 068	354	53 421	7 169	7 256	82	14 507	26 350	3 512
7	56 858	256	57 114	9 587	6 539	178	16 304	31 770	3 361
8	58 796	216	59 012	8 589	12 073	318	20 980	28 130	3 484
9	69 549	195	69 744	6 093	10 930	192	17 215	38 580	3 787
10	55 953	234	56 187	5 912	10 210	-	16 122	46 200	3 520
11	54 755	314	55 069	9 731	8 062	118	17 911	48 700	3 943
12	49 004	338	49 342	5 047	7 562	98	12 707	36 670	4 208

第 12 章  
運輸及び通信

## 第 12 章 運輸及び通信

### (1) 道路、橋梁

本府の道路橋梁は戦後10年間にわたり、戦災復興都市計画による土地区画整理事業として戦災地域についてのみ鋭意工事が進められ、その殆んどが完成の域に達している。しかし、交通量の激増で、わが国産業経済の中核である大阪府としてはまだまだ改良整備が要求せられる現状にある。そこで、管内の道路橋梁を昭和31年3月末現在でながめると、道路の延長総計は10 992軒で、うち国道が1.8%、主要地方道4.5%、一般府道8.7%、市町村道85.0%となっている。また、これに架設されている橋梁総数は5 471となり、国道に架せられたもの3.8%、主要地方道に架せられたもの7.2%、一般府道に架せられたもの12.4%、市町村道に架せられたもの76.7%となっている。さらに、これを種類別にみると鋼橋10.7%、石及びコンクリート橋56.1%、木橋33.2%となり、石及びコンクリート橋が全体の過半数を占めもっとも多く、次いで木橋、鋼橋の順となっている。これらの数字は交通量の加重、耐久性及び耐震の見地、また、都市観光的立場によって鉄筋コンクリート橋等の堅固、安全、美麗の橋梁が増加してきていることを物語っている。

### (2) 国有鉄道

国有鉄道の旅客輸送状況は産業界における雇用量の増加、学生数の著増、大都市近郊の人口増などを主軸として騰勢をたどり、大鉄局管内における昭和30年の旅客輸送人員総数は548 573 363人で、その内訳は東海道線42.8%、城東線29.5%、阪和線11.1%、片町線6.2%、関西線5.7%、西成線4.7%となっている。また、貨物輸送状況は30年の鉱工業生産の非常な伸長と、農作物の豊作に基づく出貨の強調を端的に反映して、国鉄貨物の荷動きは顕著な増送を示している。大鉄局管内における30年の取扱収入の総額は23 897百万円で、その内訳は東海道線69.9%、関西線13.5%、阪和線5.5%、西成線5.0%、城東線3.3%、片町線2.8%となり、東海道線がもっとも多く、関西線、阪和線がこれに続いている。

### (3) 私有鉄道、私営バス

私有鉄道は国有鉄道が全国的な国民交通経済をつかさどっているのに対して、地方的交通需要の充足に大きな役割を果たしているのが私有鉄道である。この私有鉄道の取扱収入を昭和27年基準で指数化すると、27年100、28年115、29年118、30年125と年々増加している。30年の取扱収入を各社別にみると、近畿日本鉄道36.9%、京阪神急行21.5%、南海鉄道18.0%、阪神電鉄12.3%、京阪電気鉄道11.1%、水間鉄道0.2%となっている。次に、私営バスの一般乗合の輸送人員を昭和27年を100とした指数でみると、28年148、29年186、30年233となり、これを各社別にみると、阪急バス34.2%、南海バス29.5%、近鉄バス17.4%、阪神バス15.7%、金剛バス1.6%、水間鉄道バス1.0%、荻木バス0.5%、白浜急行0.1%となっている。また、観光バスの輸送人員を昭和27年を100とすると、28年155、29年365、30年379となり年々増加している。これを各社別にみると、近鉄観光バス22.9%、阪神観光バス19.0%、大阪観光バス8.8%、関西観光バス7.9%、阪急バス7.5%、南海観光バス7.3%、都島自動車6.4%、日本交通バス3.6%、神姫交通バス3.2%、大阪淡路交通3.1%、大阪緑風バス2.2%、水間鉄道バス1.9%、全但バス1.8%、大阪交通バス1.5%、荻木バス、岸和田観光バスいずれも1.3%、白浜急行バス0.2%、金剛バス0.1%となっている。

### (4) 市電、地下鉄、市営バス

戦後、順調な伸びを示してきた路面電車の昭和30年度の事業概要をみると、営業軒数は30年4月現在で112 205軒となり（戦災前の97%）、停留所数は247カ所（戦災前の170%）在籍車数は505輛（戦災前の61%）、運転軒数は前年度より504千軒の増加で126 072軒、乗車人員は前年度より731 273人（0.2%）の微増で年間355 655千人を輸送している。この取扱収入を昭和27年基準でみると、27年100、28年105、29年106、30年113と年々増加となっている。次に、地下鉄は路面電車、バス、タクシー等の路面の混雑を救うため時代の要求として生れたものであるが、30年度における取扱収入は1 774 569千円で、これを27年基準で年次比較すると、27年100、28年144、29年160、30年169と著しい増加を示している。市営バスは市周辺における比較的交通需要の少ない地区及び市近郊との直通連絡機関として、また、路面電車と路線経路を異にする補助交通機関として運営されている。大阪府下には大阪市営バスと高槻市営バスの2つがある。その30年度における一般乗合輸送人員は163 336千人で、年次比較すると27年100、28年120、29年141、30年163と年々増加となっている。

### (5) 自動車

昭和30年度において社会情勢、経済情勢が急激に好転したため、その好調を反映した輸送要請の増大で、大阪府下における登録自動車数は大巾な伸びを示し、昭和30年9月末日現在で60 502台となっている。これを昭和27年基準でみると、27年100、28年123、29年138、30年155と増加の一途をたどっている。この内訳を種類別にみると小型3輪貨物自動車49.3%、普通貨物自動車14.6%、小型4輪乗用車9.9%、小型4輪貨物自動車8.4%、特殊自動車4.3%、乗合自動車2.6%、小型3輪乗用車0.1%となっている。小型3輪貨物自動車がかつとも多いのは近年の特色である。これは26年に道路運送法が改正されて以来の小型自動車を専用とする一般小型貨物自動車運送事業の発展が招来したものである。

### (6) 船 舶

市況の好転を反映して、旺盛な自己資金船と計画造船の早期実施により、わが国の保有船腹量は最近著しい増加を示している。昭和30年における近畿海運局管内の船舶数を指定統計である船舶調査でみると船舶隻数は1 593隻となっている。この内訳を船種別に百分比すると木船80.9%、貨物船9.7%、雑船4.8%、貨客船（客船を含む）3.0%、油槽船2.4%となっている。また、1隻当りのトン数を年次別にみると、昭和27年287トン、28年302トン、29年356トン、30年356と漸次増加している。次は、30年中、大阪府下各港へ入港した船舶の1隻当りトン数を各港ごとにみると、大阪港310トン、深日港45トン、堺港35トン、大津港31トン、岸和田港20トン、淡輪港15トン、尾崎港10トン、忠阿港、貝塚港、泉佐野港はいずれも9トンとなっている。

### (7) 海上出入貨物

好景気を反映してあらゆる輸送機関の輸送実績はすべて前年の実績を上回ったのであるが、特に内航汽船及び機帆船の海上輸送の実績の伸びはまことにめざましいものであった。大阪港の港勢においても昭和30年は戦後最高の好況を呈した。昭和30年中の海上出入貨物数の輸移入は3 262 662トン、輸移入は11 299 797トンとなっている。これを各港ごとに百分比でみると、大阪港95.8%（85.8%）、堺港2.2%（6.4%）、岸和田港0.6%（5.3%）、大津港0.4%（0.6%）、深日港0.3%（0.4%）、貝塚港0.2%（0.7%）、泉佐野港0.2%（0.5%）、淡輪港0.2%（0.0%）、忠阿港0.0%（0.1%）となっている。（括弧内は輸移入）以上のように輸移出入ともに大阪港がもっとも多く、総数の殆んど大部分を占めている。次に、大阪府管内における重要輸出入品を百分比でみると、その他の雑貨37.0%（12.0%）、金属及び同製品22.0%（12.3%）、鉄鉱石及び同製品8.9%（20.9%）、石炭8.7%（25.5%）、セメント8.4%（1.7%）、油類6.5%（9.2%）、肥料3.8%（0.5%）、薬品2.5%（3.1%）、木材類1.5%（8.9%）、棉花0.3%（1.4%）、米穀類0.2%（3.8%）、魚獲物0.2%（0.5%）、動物0.0%（0.2%）となる。（括弧内は輸移入）以上の数字より輸移出ではその他の雑貨がもっとも多く、次いで、金属及び同製品、セメントの順となり、輸移入では石炭及びコークスがもっとも多く、次いで、鉄鉱石及び同製品、その他の雑貨の順となっている。なお、その他の雑貨というのは大阪府の主要産業の製品である繊維製品、ガラス、ミシン、紙製品、玩具が含まれている。

### (8) 電信、電話、郵便、ラジオ、テレビ

電報の利用状況は戦前、戦後を通じて昭和28年が最高で、その後の一般電報の利用は伸び悩みの状態にある。これはひとり大阪のみならず全国的な現象である。30年中に取扱った内国電報通数は26 737 303通で、これを27年基準で年次比較すると27年100、28年103、29年89、30年83となり、同じく国際電報通数は3 522 412通で、これを年次比較すると、27年100、28年98、29年95、30年101となっている。次に、大阪の電話は29年度末に戦前の最高を2万台以上突破したが、産業経済都市大阪における旺盛な電話の需要に応じ、供給の行詰りを打開するために設備の拡充が行われた。その結果、大阪の電話器数は299 851となった。これを27年基準で年次比較すると27年100、28年111、29年121、30年137と年々増加している。通信機関のうち、もっともよく大衆に利用され、便宜を与えているのは郵便であるが、このうち30年中に大阪府下にある郵便局で取扱った通常郵便物は388 959 355通で、27年基準で年次比較すると、27年100、28年123、29年145、30年147となり、同じく引受小包郵便物は6 845 273個で、年次比較は27年100、28年101、29年134、30年148となっている。

わが国の放送は大正14年3月に東京放送局が芝浦のスタジオで行ったのが最初であるが、以来31年の間に放送事業は非常に進歩を遂げた。すなわち、放送開始当時、大阪放送局管内の受信契約者数は6万2千人であったものが、今日ではラジオの受信契約者数は782 899人を、テレビ契約者は21 071をそれぞれ突破するという盛況である。ラジオ契約者数の年次別推移を27年基準でみると、27年100、28年116、29年125、30年135と漸次増加となっている。

第 1 表 道

本表は昭和31年3月末日現在の道路橋

路線名	実延長	内 訳		種 類 別 内 訳								市 改	
		改良済 延長	未改良 延長	道 路 延長	永 久 橋		木 橋		隧 道		渡 船 場		
					個数	延長	個数	延長	個数	延長	個数		延長
総 数	10 991 633	3 055 058	7 936 525	10 921 537	3 654.0	44 2351	817,020	171	14 1 857	28 3 833	1 093 804		
国府道合計	1 651 308	900 490	750 818	1 625 536	1 150.5	21 888	132.5	2 496	9 1 101	3 287	397 422		
一級国道	118 500	118 500	-	115 251	119.0	3 134	5.0	115	-	-	112 699		
二級国道	76 451	66 999	9 452	73 050	84.0	3 189	2.0	133	-	1 79	47 290		
主要地方道 (指定府道)	498 081	333 593	164 488	489 557	359.5	7 494	35.5	746	2 284	-	150 308		
一般府道	958 276	381 398	576 878	947 678	588.0	8 071	90.0	1 802	7 817	2 208	87 125		
市町村道	9 340 325	2 154 568	7 185 707	9 296 001	2 503.5	22 3471	684.5	17 675	5 756	25 3 546	696 382		

(注) 単位 個数以外は米、但し、渡船場についての括弧内の数字は通航中のものである。

資料 大阪府土木部道路課及び大阪市道路課。

第 2 表 橋

本表は昭和31年3月末日現在の道路橋梁現況総括表によつたものである。道路の永

路線名	総 数						鋼 橋					
	計		30米以上		30米未満		計		30米以上		30米未満	
	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長
総 数	5 471	64 402.2	254	19 140.4	4 144	29 512.3	586	22 119.8	175.5	16 766.0	410.5	5 353.8
国府道合計	1 283	24 373.5	56	7 171.0	154	1 453.0	214	12 291.5	76.5	10 326.6	137.5	1 964.9
一級国道	124	3 248.7	8	1 378.0	14	219.0	27	2 181.3	13.0	1 941.5	14.0	239.8
二級国道	86	3 322.2	15	2 280.0	13	132.0	25	2 593.0	17.0	2 473.7	8.0	119.3
主要地方道 (指定府道)	395	8 239.9	16	1 941.0	53	569.0	73	4 281.5	23.0	3 549.8	50.0	731.7
一般府道	678	9 562.7	17	1 572.0	74	533.0	89	3 235.7	23.5	2 361.6	65.5	874.1
市町村道	4 188	40 028.7	198	11 969.4	3 990	28 059.3	372	9 828.3	99.0	6 439.4	273.0	3 388.9

(注) 単位 橋数以外は米。 資料 大阪府土木部道路課及び大阪市道路課。

路

梁現況総括表によつたものである。

員 別 内 訳					自動車 交通不能	路面別内訳		舗 装 内 訳							
良 済		未 改 良				砂 利 道	舗 装 道	高 級 舗 装		簡 易 舗 装					
有効巾員 5.5米以上	有効巾員 4.5米以上	有効巾員 4.5米以上	有効巾員 3.6米以上	有効巾員 3.6米未満				セ ト	メ ン 系	セ ト	メ ン 系	瀝 青 系	瀝 青 系		
1 387	291 546	698	357 371	1 280	399 6 326	020	1 838	923 9 482	980	1 505	028 573	456 525	186 22	554 383	832
384	024 116	680	252 599	153 539	347 044	74 275	1 156	951 494	278 182	783 205	520 788	105 187			
5 801	-	-	-	-	-	5 139	113	361 45	638 63	000 -	4 723				
19 245	-	5 555	1 820	2 541	-	10 072	66	300 29	485 30	561 -	6 254				
144 629	38 656	45 238	44 230	75 020	14 365	334 766	163	315 72	008 61	200 788	29 319				
214 349	78 024	201 806	107 489	269 483	59 910	806 974	151	302 35	652 50	759 -	64 891				
1 003	267 430	018 104	772 1 126	860 5 978	976 1 764	648 8 326	029 1 010	750 390	673 319	666 21	766 278	645			

梁

久橋と木橋の延長の合計と橋梁の橋長と一致しないのは四捨五入によるものである。

石 及 び コ ン ク リ ー ト 橋						木 橋					
計		30米以上		30米未満		計		30米以上		30米未満	
橋 数	橋 長	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長
3 069.0	22 113.8	72.5	4 397.6	2 996.5	17 716.2	1 816.0	20 168.6	88	5 264.6	1 730.0	14 904.0
937.5	9 590.9	40.5	2 890.9	897.0	6 700.0	131.5	2 491.1	21	1 241.3	112.5	1 249.8
92.0	952.7	5.0	373.4	87.0	579.3	5.0	114.7	2	72.0	3.0	42.7
59.0	595.9	4.0	171.5	55.0	424.4	2.0	133.3	3	108.0	1.0	25.3
286.5	3 211.7	13.0	1 022.3	273.5	2 189.4	35.5	746.7	5	407.2	30.5	339.5
500.0	4 830.6	18.5	1 323.7	481.5	3 506.9	89.0	1 496.4	11	654.1	78.0	842.3
2 131.5	12 522.9	32.0	1 506.7	2 099.5	11 016.2	1 684.5	17 677.5	67	4 023.3	1 617.5	13 654.2

第 3 表

国 有

本表は鉄道統計規程に基づく統計資料によつた年間の数字である。東海道本線は米原—神戸間及び支トン扱を含む。貨物輸送屯数のうち小口扱は推定である。城東線の昭和30年貨物輸送屯数（小口扱）

年 次	輸 送 実 績						取		
	旅 客 輸 送 人 員			貨 物 輸 送 屯 数			旅 客		
	定 期 外	定 期	計	小 口 扱	車 扱	定 期 外	定 期	小 計	
人	人	人	屯	屯	千 円	千 円	千 円		
東 海 道									
昭 和 27 年	69 825 860	136 001 640	205 827 500	972 833	24 153 905	6 549 398	1 123 094	7 672 492	
28	74 879 538	133 332 480	208 212 018	1 029 854	24 951 167	7 836 767	1 311 632	9 148 399	
29	80 355 605	140 526 360	220 881 965	889 926	24 202 366	8 335 107	1 354 236	9 689 343	
30	84 069 271	150 956 038	235 025 309	835 302	26 183 953	8 817 255	1 427 114	10 244 369	
西 成									
昭 和 27 年	4 565 354	18 870 300	23 435 654	26 308	2 369 553	70 157	50 821	120 978	
28	4 463 668	17 644 860	22 108 528	26 800	2 534 580	76 814	54 847	131 661	
29	5 059 038	18 569 100	23 628 138	21 565	2 492 355	87 097	60 671	147 768	
30	5 596 766	20 306 200	25 902 966	17 760	2 669 268	90 301	69 506	159 807	
関 西									
昭 和 27 年	10 637 687	18 764 400	29 402 087	248 413	6 053 788	1 130 459	239 744	1 370 203	
28	10 551 932	18 009 780	28 561 712	251 480	6 049 237	1 264 224	257 953	1 522 177	
29	11 472 719	18 267 600	29 740 319	228 045	6 064 281	1 443 918	259 866	1 703 784	
30	12 065 969	19 348 740	31 414 709	202 861	6 167 752	1 495 966	270 948	1 766 914	
片 町									
昭 和 27 年	9 456 429	21 482 700	30 939 129	172 917	4 657 002	116 844	97 532	214 376	
28	9 820 226	21 173 940	30 994 166	161 792	4 782 906	132 217	109 961	242 178	
29	10 301 655	21 679 080	31 980 735	112 518	4 557 148	141 216	112 112	253 328	
30	10 664 180	23 084 482	33 748 662	78 416	5 109 857	144 110	119 351	263 461	
阪 和									
昭 和 27 年	20 038 395	35 596 380	55 634 775	25 199	761 205	287 787	144 272	432 059	
28	21 005 932	33 206 220	54 212 152	45 644	1 017 698	328 530	154 527	483 057	
29	22 661 264	35 022 180	57 683 444	51 818	1 043 342	354 807	162 398	517 205	
30	22 925 093	37 720 922	60 646 015	38 708	1 452 356	354 876	176 527	531 403	
城 東									
昭 和 27 年	53 213 462	90 808 680	144 022 142	18 702	173 522	558 756	181 884	740 640	
28	56 158 345	87 740 940	143 899 285	20 274	172 986	621 036	214 152	835 188	
29	59 670 381	91 137 360	150 807 741	10 986	180 658	653 949	224 568	878 517	
30	62 474 344	99 361 358	161 835 702	706	189 028	688 845	247 273	936 118	

(注) 資料 日本国有鉄道大阪鉄道管理局経理部統計課。

鉄 道

線を、関西本線は亀山—湊町間及び支線を示している。貨物の小口扱は急行小口扱、小口扱、の減少は昭和29年10月より自動車集約輸送によるためである。

手小荷物	扱				入				総 計
	入		貨 物		入		合 計		
	郵 便 物	旅 客 雑 収	荷 物 雑 収	合 計	小 口 扱	車 扱		雑 収	
千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	
本 線									
1 185 987	1 568	32 766	129 001	9 021 814	449 112	3 437 884	36 139	3 923 135	12 944 949
1 334 659	2 032	39 493	137 822	10 662 405	668 688	3 164 377	22 859	4 855 924	15 518 329
1 282 241	1 419	43 736	132 789	11 149 528	630 081	3 929 700	19 334	4 579 115	15 728 643
1 252 159	1 522	47 536	131 380	11 676 966	626 630	4 367 123	20 347	5 014 100	16 691 066
線									
48 485	-	70	5 922	175 455	21 673	714 145	17 036	752 854	928 309
45 376	-	56	5 515	182 608	29 781	937 555	19 590	986 926	1 169 534
38 267	-	62	5 111	191 208	22 523	864 022	22 305	908 850	1 100 058
30 679	-	37	4 459	194 982	21 103	949 336	25 030	995 469	1 190 451
本 線									
155 282	945	2 745	24 355	1 553 530	211 227	952 842	21 350	1 185 419	2 738 949
158 551	1 127	2 425	24 196	1 708 476	285 704	1 114 268	12 785	1 412 757	3 121 233
144 927	1 023	3 079	25 124	1 877 937	229 550	1 000 596	11 596	1 241 742	3 119 679
144 602	963	3 138	24 868	1 940 485	186 374	1 074 964	11 753	1 243 091	3 183 576
線									
19 334	-	69	3 042	236 821	56 847	322 790	7 701	387 338	624 159
20 136	-	77	2 834	265 225	78 810	489 955	2 797	571 562	836 787
16 351	-	89	2 446	272 214	71 341	495 167	3 630	570 138	842 352
14 308	-	73	2 123	279 965	66 560	429 157	4 000	499 717	779 682
線									
25 779	-	168	4 039	462 045	15 364	103 768	2 012	121 144	583 189
30 570	-	167	4 597	518 391	26 054	164 117	621	190 792	709 183
37 047	-	189	6 088	560 529	25 910	142 208	669	168 787	729 316
29 866	-	180	5 203	566 652	24 039	122 150	1 127	147 316	713 968
線									
237 026	-	502	33 751	1 011 919	58 884	67 160	3 572	129 616	1 141 535
243 796	-	548	32 210	1 111 742	72 806	86 833	1 970	161 609	1 273 351
219 893	-	626	30 078	1 129 114	69 039	102 118	2 108	173 265	1 302 379
215 046	-	578	30 345	1 182 087	60 097	94 109	2 252	156 458	1 338 545

第4表 私有鉄道

本表は各社とも全社の分を集計した年間のものである。(大阪府下に本社を有するもの)

年次	輸送実績		取 扱 収 入				
	輸送人員	貨物輸送電数	旅客収入	貨物収入	荷物収入	雑収入	計
昭和27年	983 006 612	2 159 264	13 598 177	378 715	111 252	335 071	14 423 215
28	994 291 188	2 030 017	15 811 059	358 328	122 943	325 635	16 617 965
29	1 010 547 863	2 123 449	16 191 292	319 311	111 292	382 424	17 004 319
30	1 051 873 583	1 940 446	17 051 166	319 619	117 850	472 846	17 961 481
京阪神急行	281 931 686	-	3 780 459	-	6 718	76 338	3 863 515
阪神電気鉄道	143 175 769	18 052	2 014 778	8 207	1	187 167	2 210 153
京阪電気鉄道	134 739 848	-	1 962 423	-	6 087	28 222	1 996 732
近畿日本鉄道	301 725 320	842 135	6 269 986	140 019	68 096	112 729	6 590 830
南海鉄道	188 204 938	1 078 533	2 993 699	170 925	36 736	67 979	3 269 339
水間鉄道	2 096 022	1 726	29 821	468	212	411	30 912

(注) 資料 各私鉄経理部。

第5表 私営バス

本表は各社とも全社の分を集計した年間のものである。(大阪府下に本社を有するもの)

年次	車輛数	一般乗合		特定旅客自動車		観光バス	
		総走行料	輸送人員	総走行料	輸送人員	総走行料	輸送人員
昭和27年	464	11 831 131	37 665 261	10 905	14 974	1 905 092	1 198 563
28	583	16 235 441	55 647 340	-	-	2 771 676	1 853 815
29	688	19 794 513	69 926 648	-	-	12 297 061	4 377 700
30	772	23 062 571	87 766 848	12 241	7 404	5 177 164	4 548 410
阪神電鉄バス	73	3 374 014	13 800 769	-	-	206 511	862 678
近畿日本鉄道バス	131	3 992 533	15 231 084	-	-	707 636	1 039 706
南海電鉄バス	192	6 680 876	25 989 186	-	-	449 873	333 522
水間鉄道バス	15	174 237	888 201	-	-	207 470	88 177
阪急バス	195	7 980 907	29 985 558	12 241	7 404	538 136	340 028
金剛バス	13	496 663	1 405 247	-	-	8 727	3 507
茨木バス	10	166 783	457 930	-	-	72 120	57 930
関西観光バス	15	-	-	-	-	407 876	360 400
都島自動車	25	-	-	-	-	454 696	292 678
大阪観光バス	22	-	-	-	-	579 353	402 493
日本交通バス	16	-	-	-	-	286 017	163 928
大阪全但タクシー	8	-	-	-	-	163 592	82 117
大阪淡路交通	10	-	-	-	-	294 599	139 426
大阪緑風観光バス	8	-	-	-	-	188 047	100 155
神姫交通	10	-	-	-	-	292 604	143 261
岸和田観光バス	5	-	-	-	-	150 169	56 904
白浜急行バス	11	196 558	8 873	-	-	23 321	11 300
大阪交通バス	13	-	-	-	-	146 417	70 200

(注) 資料 各私バス経理部。

第6表 大阪市営電軌

路面電車

本表は大阪市交通局の資料によつたものである。

年次	輸送実績		取 扱 収 入			
	輸送人員	貨物輸送電数	旅客収入	貨、荷物収入	雑収入	計
昭和27年	342 596 996	-	2 785 147 621	-	50 118 868	2 835 266 489
28	(2 380 846) 350 363 909	-	(27 952 529) 2 884 111 902	-	(290 496) 65 280 807	(28 243 015) 2 949 392 709
29	(4 405 196) 354 923 749	-	(49 786 397) 2 871 273 939	-	(668 850) 69 747 453	(50 455 247) 2 941 021 392
30	(4 706 745) 355 655 022	-	(54 187 971) 3 080 384 439	-	(727 076) 71 370 213	(54 915 047) 3 151 754 652

(注) 括弧内の数字は無軌条電車の分を外数である。

地下鉄

年次	輸送実績		取 扱 収 入			
	輸送人員	貨物輸送	旅客収入	貨、荷物収入	雑収入	計
昭和27年	120 725 231	-	1 007 466 598	-	45 158 217	1 052 624 815
28	134 176 125	-	1 440 167 665	-	71 541 059	1 511 708 724
29	140 380 068	-	1 575 407 117	-	104 823 055	1 680 230 172
30	148 978 462	-	1 665 171 332	-	109 397 360	1 774 568 692

(注) 資料 大阪市交通局。

第7表 市営バス

本表は大阪市交通局及び高槻市交通課の資料によつたものである。

年次	車輛数	一般乗合		特定旅客自動車		観光バス	
		総走行料	輸送人員	総走行料	輸送人員	総走行料	輸送人員
昭和27年	(11) 692	20 581 176	100 366 129	-	-	258 049	256 854
28	(14) 721	24 129 813	120 865 210	-	-	273 440	207 978
29	(13) 711	27 468 728	141 228 290	-	-	267 753	175 434
30	(18) 743	31 722 297	163 336 038	-	-	365 558	256 251

(注) 括弧内の数字は観光バスの車輛を外数である。 資料 大阪市交通局及び高槻市交通課。

第 8 表

自

本表は各年とも9月末日現

年次	総数	普通貨物自動車			乗合自動車			普通乗用車			小型
		計	自家用	営業用	計	自家用	営業用	計	自家用	営業用	計
昭和 27 年	38 958	7 831	4 912	2 919	1 145	46	1 099	4 907	2 966	1 941	3 467
28	47 976	8 457	5 282	3 175	1 271	63	1 208	6 395	4 206	2 189	4 008
29	53 950	8 724	5 802	2 922	1 461	128	1 333	6 250	4 670	1 580	4 121
30	60 502	8 811	5 511	3 300	1 588	167	1 421	6 523	5 588	935	5 065

(注) 資料 大阪府陸運事務所。

第 9 表

貨物自動車

本表の営業用は各事業所よりの貨物自動車運送事業輸送実績、貨物自動車運送事業状況

年月	輸送電数					
	普通車			小型車		
	営業用	自家用	計	営業用	自家用	計
昭和 27 年	7 802 812	6 819 970	14 622 782	1 112 118	7 161 820	8 273 938
28	10 553 830	10 168 480	20 722 310	2 714 550	8 570 370	11 284 920
29	12 152 886	10 913 978	23 066 864	3 835 970	9 917 769	13 753 739
30	15 510 698	11 132 137	26 642 835	6 193 081	11 689 674	17 882 755
昭和 30 年 4 月	1 125 206	927 412	2 052 618	463 310	905 310	1 368 620
5	1 106 836	913 275	2 020 111	443 900	901 530	1 345 430
6	1 160 730	901 476	2 062 206	438 498	876 211	1 314 709
7	1 224 250	917 375	2 141 625	472 920	920 220	1 393 140
8	1 261 784	915 740	2 177 524	510 760	979 740	1 490 500
9	1 274 150	926 100	2 200 250	489 720	975 627	1 465 347
10	1 232 616	962 724	2 195 340	506 998	986 076	1 493 074
11	1 402 610	977 483	2 380 093	560 855	1 016 048	1 576 903
12	1 325 924	884 136	2 210 060	555 280	1 014 258	1 569 538
昭和 31 年 1 月	1 463 424	996 600	2 460 024	624 963	1 091 475	1 716 438
2	1 530 078	895 968	2 426 046	540 650	983 052	1 523 702
3	1 403 090	913 848	2 316 938	585 227	1 040 127	1 625 354

(注) 資料 大阪府陸運事務所。

自動車

在の登録台数である。

4輪貨物自動車		小型4輪乗用車			小型3輪貨物自動車			小型3輪乗用車			特殊自動車		
自家用	営業用	計	自家用	営業用	計	自家用	営業用	計	自家用	営業用	計	自家用	営業用
3 339	128	2 697	1 784	913	16 991	15 173	1 818	982	48	934	938	749	189
3 653	355	3 177	1 968	1 209	22 710	20 084	2 626	600	59	541	1 358	1 167	191
4 045	76	4 526	2 203	2 323	26 707	22 555	4 152	174	98	76	1 987	1 669	318
4 982	83	5 998	2 867	3 131	29 799	24 107	5 692	131	131	-	2 587	2 058	529

車輸送実績

月報報告書によつたもので、自家用は自家用貨物自動車輸送実績によつたものである。

総走行					
普通車			小型車		
営業用	自家用	計	営業用	自家用	計
50 881 270	75 742 516	126 623 786	23 806 533	196 180 365	219 986 898
71 921 000	91 397 640	163 318 640	54 975 590	263 599 480	318 575 070
79 482 319	94 531 737	174 014 056	70 632 153	303 925 869	374 558 022
96 657 461	94 281 099	190 938 560	102 174 253	366 329 679	468 503 932
7 247 898	7 995 552	15 243 450	7 603 480	28 344 825	35 948 305
7 131 704	7 907 625	15 039 329	7 714 982	28 226 475	35 941 457
7 531 848	7 839 306	15 371 154	7 377 084	28 081 494	35 458 578
7 897 150	7 943 125	15 840 275	8 219 800	28 811 650	37 031 450
7 735 662	7 686 140	15 421 802	8 859 200	29 740 552	38 599 752
7 914 720	7 801 290	15 716 010	9 087 540	30 970 485	40 058 025
7 723 584	7 780 920	15 504 504	8 599 834	31 279 248	39 879 082
8 372 120	7 833 133	16 205 253	9 071 220	31 497 488	40 568 708
8 279 170	7 662 512	15 941 682	9 192 408	32 045 723	41 238 131
9 261 760	8 027 160	17 288 920	9 740 277	33 108 075	42 848 352
8 572 280	7 760 664	16 332 944	7 116 920	31 036 356	38 153 276
8 989 565	8 043 672	17 033 237	9 591 508	33 187 308	42 778 816

第 10 表

自 転 車 及

本表の数字は地方税法、地方平衡交付

市 郡	総 数	自 転 車 (原動機付 を含む)	荷 車				
			荷積牛馬車	荷積大車	荷積小車	リヤカー	計
昭 和 27 年	645 493	570 679	7 242	7 957	18 484	41 131	74 814
28	703 528	634 410	6 786	7 240	16 911	38 181	69 118
29	672 118	608 012	4 509	6 428	14 592	38 577	64 106
30	725 501	662 573	3 759	5 662	13 438	40 069	62 928
大 阪 市	384 307	365 719	518	2 075	2 851	13 144	18 588
堺 市	42 354	40 303	448	146	183	1 274	2 051
和 田 市	20 276	18 404	-	50	513	1 309	1 872
豊 中 市	11 311	10 074	460	586	-	191	1 237
布 池 市	26 868	25 712	55	-	628	473	1 156
吹 泉 市	6 556	5 816	26	-	379	335	740
大 津 市	12 379	11 215	334	7	310	513	1 164
高 島 市	7 497	6 861	7	-	73	556	636
高 津 市	10 670	8 638	28	-	627	1 377	2 032
守 口 市	9 328	8 078	11	-	496	743	1 250
枚 方 市	7 888	7 560	2	-	61	265	328
	9 229	6 405	5	312	685	1 822	2 824

(注) 単位：台。資料 大阪府総務部地方課。

第 11 表

船

本表は指定統計の「船舶調査」によつ

年 次	総 数		鋼			
	隻 数	総 屯 数	計		貨 物 船	
			隻 数	総 屯 数	隻 数	総 屯 数
昭 和 27 年	1 223	350 534	243	309 700	115	241 173
28	1 592	481 394	271	430 163	130	341 239
29	1 550	552 415	290	504 851	143	396 048
30	1 593	567 806	304	513 841	140	383 525

(注) 資料 近畿海運局。

第 12 表

入 港

本表は指定統計の「港湾統計調査」によつ

港 名	総 数		汽 船	
	隻 数	総 屯 数	隻 数	総 屯 数
總 数	△1 090 169 088	△4 702 772 23 508 544	△1 051 16 830	△4 700 301 17 731 806
大 阪 港	△1 090 69 193	△4 702 772 21 427 864	△1 051 13 900	△4 700 301 17 249 339
堺 港	14 776	519 613	242	49 229
和 田 港	1 723	54 250	-	-
豊 中 港	5 361	48 394	-	-
吹 泉 港	22 283	437 100	111	14 623
大 津 港	9 306	83 995	-	-
高 島 港	12 040	113 035	-	-
高 津 港	11 135	169 047	582	47 265
枚 方 港	12 300	548 070	1 995	371 350
守 口 港	10 971	107 176	-	-

(注) 資料 大阪府土木部港湾課。△印は外国船で内数である。

び 荷 車

税の課税対象となつたものである。

市 郡	総 数	自 転 車 (原動機付 を含む)	荷 車				
			荷積牛馬車	荷積大車	荷積小車	リヤカー	計
茨 木 市	9 039	7 367	27	12	199	1 434	1 672
八 尾 市	11 217	10 302	6	74	-	835	915
泉 野 市	10 144	8 501	63	609	582	389	1 643
富 田 市	1 064	477	5	-	280	302	587
寝 屋 川 市	5 931	4 619	95	-	450	767	1 312
河 内 長 野 市	4 043	3 578	11	21	241	192	465
枚 方 市	4 195	4 065	10	20	-	100	130
河 内 原 市	5 880	5 340	100	-	50	390	540
松 島 市	4 217	4 176	104	-	26	411	541
三 島 郡	14 261	10 886	454	136	777	2 008	3 375
豊 能 郡	7 492	5 284	290	13	1 351	554	2 208
泉 北 郡	25 545	22 984	17	151	-	2 393	2 561
泉 南 郡	14 515	10 663	142	179	1 832	1 699	3 852
南 河 内 郡	21 747	18 307	52	1 073	-	2 315	3 440
中 河 内 郡	14 548	13 095	159	51	55	1 188	1 453
北 河 内 郡	22 500	18 144	330	147	789	3 090	4 356

船

たもので各年とも6月30日現在の数字である。

貨 客 船 (客船を含む)	船				木 船		
	油 槽 船		雑 船		隻 数	総 屯 数	
	隻 数	総 屯 数	隻 数	総 屯 数			
31	35 526	27	25 947	70	7 054	980	40 834
43	56 045	26	26 338	72	6 541	1 321	51 231
51	74 745	24	25 853	72	8 205	1 260	47 564
48	75 495	39	46 176	77	8 645	1 289	53 965

船

舶

たもので昭和10年の年間の数字である。

機 帆 船		帆 船	
隻 数	総 屯 数	隻 数	総 屯 数
	△39 132 704	△2 471 5 144 981	19 554 631 757
	△39 50 559	△2 471 3 648 632	4 734 529 893
	14 534	470 384	-
	1 723	54 250	-
	3 652	36 230	1 709
	22 078	417 112	94
	5 526	61 413	3 780
	8 868	89 758	3 172
	8 091	101 847	2 462
	10 305	176 720	-
	7 368	88 635	3 603



第 16 表 郵便

本表は大阪郵政局の報告に基づいて大阪府管内の分をまとめたものである。

年次	施設		業務			
	郵便局		引受通常郵便物		引受小包郵便物	
	普通局	特定局	普通局	特定局	普通局	特定局
昭和 27 年	42	395	237 741 078	10 695 740	2 204 387	2 420 699
28	42	397	293 612 362	12 812 324	2 391 254	2 294 552
29	42	400	348 027 318	12 911 966	3 039 106	3 167 126
30	43	405	375 345 317	13 614 038	3 675 711	3 169 562

(注) 資料 大阪郵政局。

第 17 表 ラジオ、テレビ

本表はNHK大阪中央放送局の業務統計によつたものである。このうち前年度末に契約数と廃止数との差を加えても年度末現在数と合致しないのは転入、転出に伴う異動数が考慮されていないためである。テレビは昭和29年3月1日より開始されている。

市郡	ラジオ			テレビ		
	加入契約	廃止	年度末現在	加入契約	廃止	年度末現在
昭和 27 年	93 067	43 485	636 180	-	-	-
28	96 497	45 621	689 668	3 666	120	3 545
29	101 572	51 074	741 929	5 668	759	6 679
30	98 189	59 703	782 899	16 422	2 032	21 071
大阪市	62 097	39 891	436 751	11 513	1 521	14 360
堺市	4 897	2 730	43 541	786	80	1 072
岸和田市	1 857	1 191	16 180	203	38	245
豊中市	3 116	1 717	24 807	527	60	765
布衣市	4 239	2 282	30 564	542	58	668
池田市	647	478	9 440	189	18	303
吹田市	1 736	773	17 170	195	17	278
泉大市	772	456	5 806	220	31	272
高槻市	756	397	9 779	57	2	83
貝塚市	674	401	7 580	65	6	104
守口市	1 580	867	12 568	129	11	180
枚方市	914	581	10 379	103	15	138
茨木市	755	351	9 406	83	5	130
八尾市	1 513	819	15 922	195	10	269
泉佐野市	786	328	7 479	118	10	147
富田林市	498	318	4 976	46	5	75
寝屋川市	408	298	6 189	97	6	112
河内長野市	448	216	5 086	45	6	60
枚河市	640	345	6 907	119	17	191
阿内市	777	403	7 747	58	8	81
松原市	698	323	6 153	100	8	111
三豊郡	735	389	7 165	44	7	45
泉北郡	605	382	7 729	118	12	190
2 233	1 291	20 426	324	40	443	
泉南郡	1 068	531	11 099	129	12	173
河内郡	2 070	1 003	22 818	242	18	351
河内郡	309	179	4 344	65	5	85
河内郡	1 361	763	14 888	110	6	140

(注) 資料 NHK大阪中央放送局。

第 13 章

商業及び貿易